

国際安全衛生センターの海外情報

中央労働災害防止協会国際安全衛生センター 小澤真一

1. はじめに

「インターネットをはやりのブロードバンドにしたが、良いコンテンツが見当たらない。」と嘆くパソコン上級者の方も、「パソコンは買ったけれど何をしたらよいのか?」とため息をつく方も、一度、国際安全衛生センター（略称：JICOSH）のホームページにお立ち寄りください。きっと業務に役立つ情報が見つけられるはずです。

国際安全衛生センターは、厚生労働省により平成11年に設置され、その運営を中央労働災害防止協会に委託されているものです。当センターでは、①日本企業が多く進出しているアジアを中心とした国々の安全衛生団体において中心となって活躍されている方々を対象とした研修の実施と②インターネットを通じた国内外の安全衛生に関する情報の提供の2点を大きな事業の柱としております。ここでは、コンサルタント会員の皆様に少しでもお役に立つことを願って、情報の提供を中心にご説明させていただきます。

2. 旬の情報

当センターでは、世界中の安全衛生に関する情報を大きく2つに分けて整理しております。

ひとつは、各国の制度や法令体系のようにデータベース書庫へ収まることが適当なもの。いまひとつは、各国の最新の動きとでもいうべきトピックスです。あまたある情報の中から有用なものを選んで提供することは簡単なことではありません。また、全ての情報を（選別せずに）提供すること

は金銭的にも物理的にも無理な話です。そこで、当センターでは、米国と英国のプロが選んだ情報を提供することいたしました。米国には日本の中央労働災害防止協会に相当する機関として全米安全評議会（NSC, National Safety Council）がありますが、その月刊誌である「Safety+Health」（中災防の「安全と健康」に相当）の「目次」「In the News」「OSHAの最新情報」といった部分を毎号翻訳して掲載しております。米国の安全衛生関係者が皆読んでいる雑誌ですから、熟読の価値があります。8月号の目次を見てみると以下のようなになっております。

特集

P.30 手根管症候群：原因を、報告書が疑問視
メイヨー・クリニックの調査は、長期間のコンピュータ使用が、手根管症候群の主原因ではないかもしれないと指摘する（キャレン・ガスパース）

68 ヒスパニック系労働者を労働力に組み込む
使用者は、米国民のなかで人口増加率の最も高い群が、安全の重要性を理解するよう、最善を尽すべきである。（ジョン・ディスリン）

74 プロフィール 安全を心がけ、高く飛翔
デルタ航空のジム・スワルツ氏は、安全を徹底するため、6点計画を守る。（メリサ・ルミンスキ）

76 労働者災害補償は鈍な伸び
米国社会保険研究所の調査報告書によると、1999年労働者災害補償の支給総額は増加したが、賃金と比較すると、実質減少した。（ジョン・ディスリン）

分野別

12 ニュース

- ヘンショー氏指名、評判は上々
- 遺伝学的差別立法が活発化
- 労働サミット、職場における努力目標を考察

21 OSHA 最新情報

- チャオ労働長官、エルゴノミクス討論会を開催
- 労組、スカリア氏指名に激怒

- #### ・記録保持規則にゴーサイン

26 産業スクープ

- ・大小機械工場で、類似の曝露
 - ・新規則で、危険物質規定を明確化
 - ・安全委員会、衝突防止訓練を要求

98 職場の解決策

適切な管理で、手腕振動症候群は防止可能

このように、米国の情報が居ながらにして手に入るわけです。同様に、NSCが発行している職長向け教育資料の「Today's Supervisor」という小冊子も順次紹介しております。最近の話題は、

2001年8月号

- *エルゴノミクスを生かし職場の過労を緩和
*ミスではなく事実を発見するために調査する
2021年3月日

2001年7月号

- * 目の傷害を常識の助けで防止する
 - * 作業安全分析：事業場における最善の慣行

2001年6月号

- *単純な工具から複雑な機械まで：工具の上手な使い方

* 鉛は死を招

- 2001年5月号
*有効に働く懲戒を適用しよう

背部・腰部

- *ガソリンスタンドにおける静电気の危険

といった具合になっており、なかなか示唆に富むものです。このうちいくつかの冒頭部分をご紹介いたします。

作業安全分析・事業場における最善の慣行

デビー・フィルドマン

今日の監督者は、職場における安全を改善し、労働災害、事故のリスクを軽減してほしい、という強い要望を受けるようになっている。作業安全分析（JSA）は、監督者が作業における危険性を明確にし、労働者の安全衛生に貢献するのに役立つ、手段の一つである。

JSA (Job Safety Analysis) とはある仕事における各単位作業 (task) の体系的分析であり、労働者が実施すべき段階的な手順を明確にし、それとともに潜在的な危険性を特定し、それを回避する方法を考えるものである。「単位作業」とは仕事の一部分で、それを完了するための一連の

特定的な行動を言う。JSA を通じて、監督者や従業員は単位作業を検討し、それらに付随する危険性を明らかにし、安全な作業手順を確立し、それによって危険性を除去または最低限に抑えることができる。

作業安全分析 (JSA) はまた作業危険性分析 (job-hazard analysis), 活動危険性分析 (activity-hazard analysis), または単位作業特定危険性分析 (task-specific hazard analysis)とも呼ばれ………

A decorative horizontal border at the bottom of the page, consisting of a repeating pattern of stylized scroll or scrollwork motifs.

エルゴノミクスを生かし職場の過労を緩和

ロア・ポストマン

クリントン政権が提案した事業場における新しいエルゴノミクス規則を議会が否決したからといって、労働者と企業はそうした警告を無視すべきだということにはならない。「提案が否決された以上、何の対策を行う必要もないと判断する会社ができるのは間違いありませんが、大半の企業は事業場でのエルゴノミクスの有効性を理解し、引き続きエルゴノミクス・プログラムを実行し、維持していくと確信しています」と語るのは、ノースカロライナ・エルゴノミクス・リソース・センターのアニタ・ゴーリングー所長である。

労働安全衛生庁（OSHA）によると、毎年約180万人の労働者が、よく知られる手根管症候群などの業務関連の筋骨格系障害（MSD）にかかっている。このうち60万人が、労働時間を損失している。

エルゴノミクス規則は、事業者に対し、反復的負荷傷害についての情報を労働者に提供し、問題発生のリスクのある状況を改善するよう義務づけるものだった。規則案をめぐる議論のおかげで、かつてはほとんど知られていなかったエルゴノミクスという科学が産業界の流行語になり、多くの企業に自主的な改善を強いることになった。

いかがですか、職長向け資料といってもあなどれません。全文は当センターのホームページでご覧

海外情報

下さい。

(<http://www.jicosh.gr.jp/Japanese/library/index.html>)

また、イギリス王立災害防止協会 (Royal Society for the Prevention of Accidents, RoSPA) 発行の「OS&H」についても目次やニュースの紹介を行っています。著作権の関係で記事の全文を翻訳して紹介することができないのは残念ですが、「時の話題は何か」はつかめると思っております。

3. データベース機能

どの分野においても国際化は避けて通れないものとなりました。現時点では、海外情報が必要で無い方もどこにいけば情報が手にはいるかを知っていることは重要なと思います。

[NIOSH - Alert]

米国の国立安全衛生研究所 (National Institute for Occupational Safety and Health, NIOSH) は、日本の旧厚生省に相当する DHHS (Department of Health and Human Services,) の疾病コントロールセンター (Center of Disease Control) に所属する機関です。NIOSH のホームページからは化学物質の危険防止 NIOSH ガイドライン (Occupational Safety and Health Guidelines for Chemical Hazards) や化学物質毒性情報 (REGISTRY OF TOXIC EFFECTS OF CHEMICAL SUBSTANCES) など充実したデータベースも利用できますが、ここでは、"Alerts" をご紹介します。

Alert は文字通り警戒警報です。NIOSH が労働災害に関して新しく得た情報を迅速に提供するものです。労働者、事業者及び安全衛生関係者はこの情報に基づき、リスクを最小限とし適切な管理を行うため機敏な対応をとる必要があるとされています。1980年以来56の警報が発せられており、年平均では3件程度と数は少ないものの、安全衛生関係者にとって見逃してはならない情報といえましょう。昨年は①エチレンオキシド滅菌装置の

爆発防止、②フォークリフトによる災害の防止及び③医療における注射針差し事故の防止についての3件の警報が出されました。このうち②の内容については日本の法令において既に措置されていると考えられましたのでタイトルのみの翻訳とし、①と③についてその要約を当センターホームページに掲載しております。

NIOSH 番号	タイトル
99-146	建築物崩壊による消防士の事故防止
99-126	燃蒸中のホスフィンによる中毒と爆発の防止
99-110	電気的、機械的その他の制御不能なエネルギー放出による事故防止
98-142	交通事故車の衝突による労働者の死傷の防止
98-118	ガソリンを動力とするエンジンおよび工作機械による一酸化炭素中毒の防止
97-135	天然ゴムラテックスによるアレルギー防止
97-116	動物取り扱い者の喘息防止
97-110	移動式ごみ収集車による労働者の死傷防止
96-112	建設業労働者の珪肺防止
96-111	ジイソシアネートの曝露による喘息防止

最近5年間に発せられた警報は上表のとおりと多岐にわたっています。これまでの警報についても、順次要約を提供していくこととしています。当センターホームページからは、NIOSH 該当ページ (<http://www.cdc.gov/niosh/alerts2.html>) からオリジナルがダウンロードできるよう、リンクが張られています。どうぞご利用下さい。(JICOSH-国別情報-アメリカ-担当省庁-NIOSH から入るのが便利です。)

[各国安全衛生情報]

現在、各国の安全衛生情報は、日本語ホームページ【国別情報】の中に、「担当省庁」、「関係法令」、「災害統計」、「安全衛生団体」、「……における労働安全衛生」、「トピックス」に分類して提供しております。なかでも【関係法令】については問い合わせも多く、必要に応じ順次日本語化を図ることとしておりますが、現地語や英語翻訳資料の紹介機能を充実するよう努めております。当センターで入手している資料の紹介はもちろんのこと、各政府や関係機関が開いているホームページ

ジを調べ、関係法令が入手できるサイトへリンクを張っています。「トピックス」の「労働法・労働安全衛生法」を選んでいただくと、

◆アジア太平洋地域

- ◆オーストラリア◆中国◆香港◆インド
 - ◆インドネシア◆韓国◆マレーシア◆モンゴル
 - ◆フィリピン◆シンガポール◆タイ◆台湾
 - ◆ベトナム
 - ◆北南米
 - ◆アメリカ◆アルゼンチン◆ブラジル◆カナダ
 - ◆メキシコ
 - ◆ヨーロッパ
 - ◆ドイツ◆フィンランド◆フランス◆イギリス
 - ◆EU

となっており、これらの国々について、日本語のものがあればそのページへ、なければ現地語か英語が入手できるページへ移動できるようになっています。

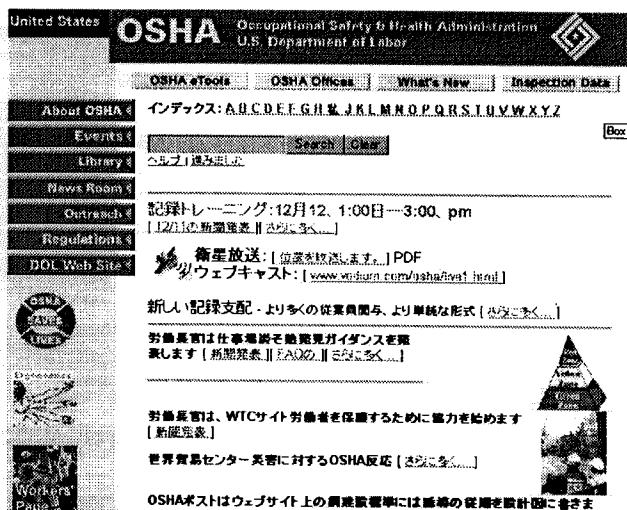
ここからリンクが張られている、ILOの“Asian-Pacific Regional Network on Occupational Safety and Health Information”や、歐州安全衛生機構（European Agency for Safety and Health at Work）のサイトは、質、量ともに充実しています。基本言語が英語となっており、ドイツやフランス、タイなど非英語圏の情報もある程度英語で入手できる点もありがたいところです。一度覗いてみてはいかがでしょうか。

4. 世界のホームページ

皆様よくご存じの米国OSHAや英国HSE(Health and Safety Executive)をはじめとして各国の労働安全衛生担当機関からインターネットを通じてどんどん情報が提供されています。当センターでも隨時アンテナを張り必要な情報の提供に努めていますが、なかなかそのスピードについていけません。直接これらのページを訪ねてはいかがでしょうか。当センターのホームページでは各国担当機関の入口までご案内しております。エキサイトやアルタビスタというサイトの無料の翻訳ソフトを使うと完全にとはいきませんが、およその感じが掴める程度の訳がご覧になれます。

<http://www.excite.co.jp/world/url/>

<http://world.altavista.com/> の translate



エキサイトで自動翻訳した OSHA のページ

5. おわりに

ここでご紹介したもののほか、当センターホームページでは、約1万2千語の日本語一英語の対訳用語集、日本の安全衛生法、同施行令、同規則等の英語版、日本の安全衛生法令の解説（日・英）等も用意しております。また、各国の情報をいくつかのトピックスに分類して提供しているほか、海外の事故情報を扱うコーナーなども設置しております。是非、ご活用下さるようお願いいたします。

当センターでは、今後とも各国情報の収集・提供に努めて参りますが、ご協力戴ける方を募集中です。以下の業務に興味を持たれたコンサルタントの皆様是非、info@jicosh.gr.jp へ連絡下さい。
[募集]

- 1 英語、中国語、仏語、独語等の安全衛生関係資料を翻訳し、ワードかHTMLにて入稿して下さる方。
 - 2 海外で外国人に安全衛生を教育した経験をお持ちの方。特に4S（5S）やKYTについて実績をお持ちの方。
 - 3 海外赴任の経験が豊富で、これから海外に進出しようとする企業や海外赴任が予定されている者に対し種々の情報を提供下さる方。特に中国について情報をお持ちの方。